

平成28年度事業計画

平成28年度は、人口減少社会を迎え、当協会をめぐる環境は大きく変化しており、多様なニーズに応えるため、当協会の専門性を維持しながら、経常経費のより一層の効率化を図り財務体質を強化しつつ、法人の事業目的と会員の期待に応え得る積極的な事業展開を図っていくこととします。

昨年度は、回復基調にある景気に支えられ、圏央道の東名高速道路との接続、北陸新幹線の開通などにより、天候の影響はあったものの、観光入込数は概ね順調に推移してきました。

当協会としては、プレミアム宿泊券の販売や季節に即した観光情報の提供などによる観光振興、国交付金事業「ふるさと割」を活用した通販サイト「CASAぐんま」や東京の群馬県情報発信基地「ぐんまちゃん家」での物産品割引販売による物産振興などに取り組んでまいりました。

平成28年度は、群馬県をはじめ、多くの市町村が地方創生という観点から観光を見直すことから、当協会としても、公益財団法人として、会員の皆様の負託に応えるべく、次の事業展開を実施してまいります。

まず、「観光」と「物産」は観光の両輪であることから、「観光部」と「物産部」を「観光物産部」に統合し、「観光」と「物産」を融合させ、「訪れたい」観光地づくりを進めます。

複数の県内観光協会が進める「日本版DMO」を支援するとともに促進させるため、当協会も「日本版DMO」設立に向け、既存の団体との連携はもとより、食や歴史などに関する団体とも協力し、データに裏打ちされた各地域に即した着地型観光のさらなる定着に努めてまいります。

また、今年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」に引き続き本県ゆかりの戦国武将「真田氏」を題材とした「真田丸」の放映に合わせ誘客キャンペーンを展開予定です。

海外からの誘客についても、県や県内観光協会と連携して、引き続き台湾からの教育旅行をはじめ積極的に誘客促進を図ります。

物産振興については、県や地域物産振興協会と連携して、地域に埋もれている魅力ある商品の発掘・育成に努め、いままでの「観光展」を「観光物産展」に拡充し、本県の魅力向上に繋がります。

さらに、国際化推進としては、県や地域国際交流協会と連携を深め、在住外国人への生活情報の提供や相談などの生活支援に努めるとともに、翻訳や通訳にも積極的に取り組み、国際交流の促進に努めてまいります。

以上の事業を展開し、魅力のある信頼される群馬県観光物産国際協会を目指します。

I 観光物産振興・推進事業

1 観光物産情報発信及び宣伝育成事業

(1) 観光情報事業 938千円（県負担金事業）

県内外の多くの方に群馬の生の情報をリアルタイムに伝えるため、群馬県や市町村、関係団体等と連携し情報収集を行うとともに、ホームページから観光情報の発信・更新を行う。

なお、当協会ホームページをググっとぐんま協議会ホームページと統合し、魅力的な観光情報を発信する予定。

(2) ぐんまの通販サイト「CASAぐんま」の運営 5,309千円

県内外の多くの方に本県物産の魅力を発信するため、本県物産の通販システム「CASAぐんま」を通じて、インターネット販売に参加したい意欲のある県内業者を対象に、商品のブラッシュアップ、販路開拓等に繋がるよう支援を行う。

また、県税務課の協力を得てこの「CASAぐんま」の商品を「ふるさと納税返礼品」に活用する。

1) 群馬県産品販売等（収入 2,049千円）

2) 運営委託等（ 1,577千円）

- ・インターネットシステム管理運営委託
- ・商品流通システム管理運営委託

(3) 県内物産カタログによる紹介宣伝事業 2,250千円

県内物産の周知・宣伝等を目的に名産品カタログ「ぐんまの逸品(2016～2017版)」を作成し、観光展・物産展等において県内外の多くの方に幅広く配布する。これにより、本県物産の情報発信に寄与するとともに、市場動向等の情報提供、専門家によるノウハウの教授等を通じて県内物産業者の育成を図る。

2 観光物産宣伝事業

(1) 各種マスメディア活用誘客宣伝事業（県負担金事業）

ラジオ番組放送を活用し、四季を通じた県内各地域の観光素材やイベント情報の発信を行い、県内外からの誘客に繋げる。

1) ラジオ情報宣伝 4,500千円

① エフエム群馬コーナー番組 3,093千円

県内各市町村観光担当課や観光協会等持ち回りで、ラジオ番組に出演、観光素材、観光物産展などの宣伝PRを県内リスナー向けに実施する。

- ・放送回数：年間52回（毎週金曜日）

② NACK5コーナー番組 1,407千円

県内各市町村観光担当課や観光協会等持ち回りで、ラジオ番組に出演、冬の観光素材、観光物産展などの宣伝PRを県外リスナー向けに実施する。

- ・放送回数：年間7回（予定）

(2) 観光物産展等開催・育成に関する事業

1) 観光展・観光キャラバン事業 4,949千円(県負担金事業)

会員各市町村(観光協会等)等の地域の魅力を発信するため、会員相互が連携して、観光PRを実施する。

①関東エリア観光キャラバン(拡充) 2,724千円

(中小旅行者観光キャラバン)

関東近県からの具体的な誘客を図るため、商品造成者(中小旅行者)を対象とした商品説明会及び観光セールスを各地域旅行業協会と連携し、実施する。

また、会員とともに官公庁、マスコミを訪問するとともに駅頭でのキャラバンを行うなど広く本県の露出を図る。

- ・平成28年度は、埼玉県・千葉県・神奈川県で実施を予定。

上期1回 下期2回(予定)

②他県協会連携キャラバン 990千円

他県協会との連携により、高速道SA及び沿線ショッピングセンター等で観光展を、実施し県内誘客を図る。

また、各協会相互にバスツアーを企画催行し、他県からの着地型観光を展開する。

- ・平成28年度は、千葉県、神奈川県、静岡県と連携予定。

上期1回 下期2回(予定)

③高速道路観光展 835千円

夏秋季観光ハイシーズンに向けた情報を発信することを目的に会員各市町村(観光協会等)等と連携し、高速道SA等における観光展を開催する。

- ・開催時期：夏休み前及び秋の行楽シーズン
- ・開催場所：①上里SA(下り線)3回、②東北道佐野SA1回(下り線)
③壬生PA1回

④日本観光振興協会関東支部観光展参加 340千円

日本観光振興協会等支部と連携し、横浜・仙台(予定)の各駅構内で開催される観光展に参加し、本県への誘客に繋げる。

- ・開催場所：横浜駅構内コンコース、仙台駅構内コンコース(予定)
- ・開催時期：平成28年9月、11月(予定)

⑤EXPOジャパン 60千円

9月下旬に東京ビックサイトで開催され、県が出展する世界最大級の旅の祭典「EXPOジャパン」に職員を派遣し、県及び県内市町村と連携し、観光キャンペーンを実施する。

2) 物産展等開催事業 4,529千円

県内外の百貨店・商業施設等において、本県物産の紹介宣伝及び県内物産業者の販

売ノウハウの育成を図るため、県及び関係団体と連携し、各種観光物産展等を開催する。

特に、首都圏での物産宣伝による認知度アップを図るため、首都圏近郊における観光物産展開催を積極的に推進するとともに、会場等の新規開拓にも取り組む。

- ・開催回数 年間30回程度を予定。

(3) 旅行エージェント(ツアー造成促進)及びマスコミ招聘・対策事業(県負担金事業)

1) 旅行者等現地視察会事業 500千円

旅行者及びマスコミ業者を対象に本県の現地視察会を行う。これにより、本県への理解度を深めてもらうとともに、旅行商品造成や自主出稿を促し、県内送客を促す。

- ・平成28年度は、個別招聘による各旅行者、マスコミの要望に応じたオーダーメイドの現地視察を10回程度予定

2) 観光素材宣伝事業 2,930千円

各正会員・賛助会員の協力の下、観光素材の掘り起こしを行い、観光素材集を作成する。作成に当たっては、各地域の観光素材の磨き上げに取り組むとともに、県内各地域への誘客につなげるためモデルコースを策定し誘客促進と知名度・イメージ向上を図るとともに、旅行エージェントに向け情報を発信する。

- ・発行部数 1,600部予定 上期1回 下期1回(予定)

3) エージェント支援事業 700千円

旅行者が本県周遊の商品造成を行う際に、参加者向けツアー特典(ノベルティ)を提供することにより、ツアー価値を高めるとともに、本県への誘客を促進する。

4) 着地型観光ルート提供事業 400千円

主に中小旅行者に対し、県内の磨き上げられた観光素材、隠れた観光素材を盛り込んだ県内を周遊する具体的で現実的な観光コース企画集を提供、提案する。これにより、県内各地域に向けた広域的な誘客を図る。

3 地域連携事業

(1) 観光功労者表彰及び観光振興助成事業 260千円(県負担金事業)

① 観光関係功労者表彰

観光事業の発展に資することを目的に観光事業に功績のあった者を表彰する。

② 観光関係の行事等の後援及び賞の交付

地域の観光振興に有効と思われる行事を後援するとともに、それらの行事を実施する関係機関が行う表彰に対し賞状等を交付し支援する。

(2) 物産振興助成事業 600千円

① 各地域物産振興協会が中心となって開催する地域の物産展、新しい特産品掘り起こしのための展示即売会等の物産振興事業に対して、予算の範囲内で助成を行う。

② 各地域物産振興協会他、関係機関の主催する展示即売会や物産展等の物産振興事

業に対して、後援や協力を行う。

(3) 地域づくり・人材育成事業

1) 魅力ある観光地づくり推進事業（日本版DMO設置推進）（県補助事業）

12,000千円（新規）

地域が主体となり、地域の資源を生かした観光地は交流人口を増加させ、地域の雇用創出、地域経済の発展に寄与するため全国的に注目されている。県の補助を受け、はばたけ群馬観光博覧会で培った着地型旅行商品のノウハウを生かし、県内でDMOを目差す観光協会を支援するとともに、DMO造成の機運醸成を図るため、専門人材を雇用するとともに、関係機関をまとめワークショップ等を開催する。

2) 観光人材育成事業 670千円（県負担金事業）

会員・賛助会員等、観光に携わる幅広い人材の育成及び報提供を目的に研修会を開催する。また、先駆的な地域を対象とした視察研修を実施する。

① 観光人材育成

・平成28年度は年4回を予定。上期2回 下期2回（予定）

② 視察研修

・平成28年度は年1回を予定。下期1回（予定）

3) 地域物産振興育成事業 238千円

① 各地域物産振興協会等に物産に関する講師を派遣し、物産振興に資する事業を支援する。

② 会員名簿の作成を通じて、物産振興協会が整備されていない地域における物産業者の事業参画を推進するため、県・市町村と協力し、各地域物産振興協会の広域化推進など育成強化に努める。

4 品質及びデザインの向上促進及び指導に関する事業

群馬県優良県産品推奨に対する協力 514千円

県が「群馬県優良県産品推奨制度」により指定した推奨品の普及及び販売促進に資するため、推奨シールの普及を促進する。

5 海外誘客対策事業（県負担金事業）

(1) 外国人観光客受入体制整備事業 870千円

外国人受入宿泊施設を拡大する為に、市町村観光課及び観光協会と連携し、宿泊施設への指導支援をし、外国人動向(人気訪問箇所・行程・料金など)を情報提供する。

(2) 海外誘客対策 1,255千円

東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、訪日外国人の増加が見込まれる中、引き続き台湾を中心に東アジア・東南アジアからの教育旅行に取り組む。また、県内観光関係者と連携し、更なる外国人観光客増を目指す。

- ① 教育旅行受入体制整備
- ② 温泉地活性化・一般訪日客・スキー客誘致

6 負担金・拠出金

ググッとぐんま観光宣伝推進協議会負担 17,800千円

群馬県、市町村、観光関連団体等が協力し、全国から本県への誘客を図ることを目的としたググッとぐんま観光宣伝推進協議会事業へ負担金を拠出する。

7 ぐんまちゃん家管理運営事業

群馬県から「ぐんまちゃん家管理運営事業」を受託し、群馬県の観光案内・宣伝及び群馬県産品の紹介宣伝等を行うとともに、都内におけるアンテナショップとして県内物産業者の育成に寄与する。具体的には、商品の紹介等を通じた販売支援、商品のブラッシュアップなどを通じてアドバイスを行う。

(1) 群馬県産品の紹介宣伝及び試験販売等 86,835千円

広く県産品の魅力浸透を図るため、首都圏各地で開催されるイベント等にぐんまちゃん家の常設品を搬出する「出張ぐんまちゃん家」を出店する。また、新規県産品の宣伝及び出展業者の販売ノウハウの育成を図るため、ぐんまちゃん家1階に「チャレンジコーナー」を設置する。

(2) ぐんまちゃん家管理運営事業受託 7,064千円(県受託事業)

群馬県から「ぐんまちゃん家管理運営事業」を受託し、ぐんまちゃん家1階で観光宣伝及び群馬県産品のPR等を行う。

(3) ぐんまちゃん家運営管理 33,057千円

ぐんまちゃん家1階における群馬県の観光宣伝及び群馬県産品のPR及び販売等を行うために「ぐんまちゃん家管理運営事業」を適切に実施し、円滑な運営を行う。

また、群馬県がぐんまちゃん家2階に設置した「ぐんま総合情報センター」と綿密な連携を行い、民間アイデアを活かした各種取組を実施する

8 群馬県スキー場経営者協会事務局 2,430千円

本県冬季観光産業のメインである県内スキー場の活性化と誘客に資するため、群馬県スキー場経営者協会の事務局として、様々な事業の展開を図る。

9 受託事業

(1) 高崎観光案内所運営受託 6,672千円(県受託事業)

高崎駅構内のビジターセンターにおいて、「高崎駅観光案内所(i案内所を兼ねる。)」の運営を受託する。

(2) ぐんまちゃん家イメージアップ強化事業(県受託事業) 14,495千円

群馬県の更なるイメージアップを図るため、ぐんまちゃん家を拠点に群馬県から「ぐ

んまちゃん家イメージアップ強化事業」を受託する。事業では、群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」を活用し、店頭PRやマスコミPR、サロンドGなどのイベント支援、外国人観光客誘致等を行う。

II 国際化推進事業

1 多文化共生支援事業 9,034千円

在住外国人に対し、県内全域を対象とした情報の収集・発信と多言語コミュニケーション支援、日本語学習支援を軸として、多文化共生社会へ向けた地域づくりを目指す。

(1) 「多言語インフォメーションセンター」の運営（県補助事業） 7,090千円

総合相談機能を有する多言語インフォメーションセンターにおいて、4カ国語（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語）で、多文化共生と国際交流・協力、国際観光の推進に資する通訳、翻訳、相談を実施する。

(2) 外国人のための法律相談 450千円

在住外国人からの各種相談に対し、5カ国語（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語）による「弁護士、行政書士、社会保険労務士による無料相談会」を市町村と連携して実施する。

なお、本事業の周知のため「全県相談の日」を設け、複数の市町村で同時開催する。
開催回数：4回（うち1回を「全県相談の日」とする。）

(3) 外国人相談実務者のための研修 150千円

外国人相談業務に携わる実務者を対象に、非常時の対応や相談対応における基礎や最新の制度改正等についてのスキルアップを図るとともに、他の相談機関との連携や相談員同士のネットワーク構築等を目的とした研修を実施する。（CLAIR補助事業申請予定）
開催回数：1回

(4) 多言語サイト「All Around Gunma」の運営 432千円

外国人を対象とした県内の生活・観光情報や、県民へ向けた国際交流・協力に関する情報を収集し提供する多言語サイトを5カ国語（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、日本語）で運営する。

(5) 多言語メールマガジン発信 292千円

多言語サイトと連動し、県内の生活・観光情報等を4カ国語（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語）で発信する多言語メールマガジンを発信する。
発行回数：毎月1回 年12回
発信数：ポルトガル語約220名・スペイン語約130名・英語約410名・中国語約140名

(6) 外国語情報誌「THE GUNMA GUIDE」発行 320千円

在住外国人を対象に県内の生活・観光情報、各国際交流団体等の情報を掲載した多言語情報誌を4カ国語（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語）で発行する。

発行回数：隔月1回 年6回

発行部数：各言語（4言語）500部

(7) 日本語学習支援事業 300千円

在住外国人の日本語学習を支援するボランティアの養成を目的とし、日本語学習支援のための基礎的な知識を習得する講座を開催する。

開催回数：全6回

2 国際交流・協力推進事業 502千円

人材育成とコーディネート機能を軸として、県内の国際交流・協力活動の活性化を図るとともに、県民が参画する国際交流・協力活動の促進へ向けた環境整備を行う。

(1) 国際交流ボランティア人材バンクの運営/育成事業 36千円

6種類のボランティア(通訳・翻訳/ホームステイ/日本文化紹介/海外事情紹介/日本語支援/イベント協力)を登録し、県や市町村、公共団体の依頼に応じて紹介と派遣を行うとともに、ボランティアの育成・ネットワーク構築を目的とした研修会を実施する。

(2) ぐんま観光体験バスツアー 332千円

在住外国人と地域住民との交流や観光促進を目的として、県内の日本文化や自然等を体験するバスツアーを実施し、外国人参加者による自発的本県の魅力発信を図るとともに、外国人観光客誘致による地域の国際化に資する。

開催回数：1回

(3) 国際交流団体等連携事業 41千円

県内各市町村国際交流協会等とのネットワーク構築強化を図るとともに、相互連携を深め、共通する課題に対する意見交換や情報共有を行う連絡会議を開催する。

開催回数：2回

(4) 県内国際交流・協力団体活動調査及び情報提供事業 12千円

県内の各種国際交流・協力団体の構成、活動状況等の調査を行い、当協会のホームページ上で公開し、県民への情報提供を行う。

調査回数：1回

掲載団体数：約100団体

(5) 国際理解推進事業 81千円

国際理解教育・国際協力に関する参加型セミナーや県内スタディーツアー等をJICA

と連携し開催することにより、世界や地域の課題に目を向け、国際的な市民活動の活性化を図る。

開催内容：セミナー1回・スタディーツアー1回

3 外国人未払医療費対策事業 5, 296千円（県補助事業）

外国人を診療したが、受け取るべき医療費を回収できないでいる医療機関に、その医療費の一部を補填し、医療機関の負担軽減と社会の安定に資する。

4 受託事業 2, 082千円

(1) 地域国際化推進サポート事業 1, 262千円

(一財)自治体国際化協会群馬県支部の活動を円滑にし、一層の地域国際化推進を図るため、翻訳・通訳・情報収集・発信等の業務を受託する。

(2) 群馬県日本中国友好協会業務受託事業 500千円（新規）

日本と中国両国間の民間レベル交流が重要視される中、群馬県日本中国友好協会の活動を側面的に協力するとともに、群馬県上海事務所との連携や同事務所協力の下、友好交流覚書を締結した上海市人民対外友好協会との一層の交流推進を図るため、群馬県日本中国友好協会から翻訳・通訳・情報収集・発信等の業務を受託する。

III 旅行業事業 8, 150千円

宿泊客を含めた誘客を促進するため、当協会本部、高崎、東京の案内所を中心に宿泊斡旋等を行う。

旅行業関連の事業にも積極的に取り組み、主催旅行の実施、手配旅行の請負等を行う。

IV 観光施設事業 9, 000千円

県立赤城公園内、榛名公園内において観光施設（厚生文教団地等、オートキャンプ場）の管理運営を行う。

V 財団の運営

1 理事会、評議員会の開催

事業計画、予算、その他の重要事項等について審議を行うため、理事会、評議員会を6月、3月に行う。また、必要に応じ臨時会を開催する。

【参考】ググっとぐんま観光宣伝推進協議会予算（案）

知事を会長とした県内250団体から構成される「ググっとぐんま観光宣伝推進協議会」では、群馬DC以降培ってきたノウハウを生かし、継続して「ググっとぐんま観光キャンペーン」を実施することにより、本県への誘客を促進する。

平成28年度は26・27年度同様、開催期間を10月1日から12月31日までとし、JR東日本の重点販売地域指定を受けて実施する。

1 広報宣伝事業 23,105千円

(1) メディア広告宣伝 2,700千円

キャンペーンを首都圏及び県内に周知するため、メディア等を活用して広報宣伝を行う。※市町村等の出演あり

- ・ラジオCM（20秒CM及び提供クレジット）

番組名：TBSラジオ「井森美幸の『ググっとぐんま』」

放送日時：平成28年4月～29年3月 毎週日曜8：29～（約10分間）

(2) 各種宣伝物の製作 2,000千円

キャンペーンの宣伝・啓発を図るため、専用ノベルティを製作する。

- ・のぼり旗、ポケットティッシュ 等

(3) ホームページの運営 2,000千円

キャンペーンや本県の観光情報を発信するため、公式ホームページ「ググっとぐんま」(<http://gunma-dc.net/>)を運営する。

※群馬県観光物産国際協会のホームページと統合予定

(4) 観光情報誌「ググっとぐんま」製作・配送 11,255千円

旬の観光情報等を定期的に提供するため、観光情報誌「ググっとぐんま」を製作し、本県の魅力を伝えるとともに、本県への一層の誘客促進を図る。

- ・発行予定部数

夏号15万部、秋・初冬特別号50万部、冬号15万部、春号15万部

- ・配布場所

首都圏のJR・東武鉄道主要駅、高速道路SA・PA、県内の観光施設、県内外での各種イベント等

(5) ポスター制作・配送 2,500千円

本県の観光イメージを視覚的に印象づける宣伝媒体としてキャンペーンポスターを制作し、魅力ある観光素材を全国に向けて発信する。

(6) エリア別事業助成金 2,500千円

キャンペーン期間中の各地域部会による事業（イベント開催等）について、協議会

から助成金を支給する。

- ・対象経費の2分の1以内、限度額50万円

(7) 総会の開催 150千円

総会開催のための会場使用料、看板制作・設置費用

2 誘客対策事業 6,550千円

(1) 駅キャラバン、旅行エージェント・メディアキャラバン 700千円

① 駅キャラバン

首都圏JR駅で実施予定 ※希望市町村の参加あり

② 旅行エージェント・メディアキャラバン

首都圏の旅行事業者・旅行メディアを訪問

(JTB、日本旅行、農協観光、東武トップツアーズ、近畿日本ツーリスト、はとバス、旅行読売出版社、交通新聞社等を予定)

(2) 観光情報説明会 500千円

首都圏において、旅行事業者等を対象とした観光情報説明会を開催

※希望市町村の参加あり

(3) 観光イベント出展 400千円

「旅まつり名古屋」へ出展する。 ※希望市町村の参加あり

(4) 北陸方面からの誘客対策 4,000千円

① 特定会員組織を活用した誘客促進事業 3,000千円

(株)リロクラブのネットワークを活用した特別ツアーの造成を予定

② 大規模イベントへの出展等 850千円

金沢市内及び富山市内で開催される大規模イベントにおいて、本県ブースを出展し観光PRを行う。 ※希望市町村の参加あり

地元メディアを活用した広報宣伝を実施する。

③ 北陸新幹線駅キャラバン 150千円

北陸新幹線駅における観光キャラバンや旅行エージェント訪問を実施する。

※希望市町村の参加あり

(5) 上州ぐんま産直市 250千円

JR東日本が主催する上野駅での「上州群馬産直市」にて観光PRを実施する。

(6) キャンペーンオープニングセレモニー 700千円

キャンペーンの開催を周知するため、オープニングセレモニーとしてSL出発式を行う。

3 受入れ体制整備事業 4,590千円

(1) おもてなし講習会 90千円

旅館や観光施設、飲食店、タクシードライバー等がおもてなしの心構えや基本マナー等を学ぶ講習会へ講師を派遣、または講師謝金の2分の1（上限3万円）を助成する。

(2) 二次交通対策 4,500千円

公共交通を利用した周遊観光モデルコース集を発行する。

公式ホームページ「ググっとぐんま」における二次交通アクセスの紹介を拡充する。

4 事務局費 1,555千円

協議会の運営費（旅費、役務費等）